

# 地域 ICT を利活用したモデル事業構築を目指して

## Aiming at Construction of a Business Model using Local Information and Communication Technology

山守 一徳<sup>1)</sup>

Kazunori Yamamori<sup>1)</sup>

### 1. まえがき

本研究は、総務省から津市に平成19年度から21年度の3年間計画により委託を受けた地域 ICT 利活用モデル構築事業の中の一部の活動であり、平成19年度にはシステムを構築し、平成20年度には構築したシステムを使って諸活動を行い、平成21年度には、ビジネスモデルの構築を目指したものである。特に、子育て、子育てを支援する活動に注力してきており、平成21年度の津市と三重大学との共同研究のタイトルは、「地域流通情報(子育て、子育て)調査、情報交流活性化研究」である。本報告では、平成21年度に行った活動について主に報告する。

### 2. 構築してきたシステム

平成19年度から構築してきた ICT システムは、テレビ会議システム、テレビ電話システム、SNS サイト、ブログサイトなどである。これらを使って、地域住民が情報を共有し合って、子育て、子育てに役立てることを目指した。テレビ会議システムやテレビ電話システムは、小児科医院や幼稚園・保育園間で通話し合って、各種相談が行えるようにし、SNS サイトでは、図書館の子ども向け本の紹介を行い、ブログサイトでは、ブロガーによって子ども向けや親御さん向けの記事の提供を行った。2009年3月8日には、「元気っ津まつり」を津市まん中交流館・まん中広場周辺で開催し、「子育てと子育て」をテーマとしたシンポジウムや各種ステージで多くの親子が参加する活動を行った。この時、SNS サイトでは、GPS 携帯による地点案内が投稿できる機能を実装した<sup>[1]</sup>ため、SNS サ

イトの中には、津市内の地点案内情報が多数蓄積された。その中で、3年計画で目指していた「ICT 利活用モデル構築事業」へ移行すべく、平成21年度には、将来的に採算性が合う事業にしていこうと、参加費を集められる子ども料理教室等の活動に着手した。

### 3. 平成21年度の活動概要

ビジネスモデルとしていくためには、集金のできるシステムにしていく必要がある。そこで、活動の参加費を集めることが比較的容易な料理教室に着目した。行った活動を表1に示す。

1件目の活動の試食講習会は、子ども向けのお弁当作りのポイントを、親御さんを対象に講演していただいた。場所を料亭で講演していただくことで、料亭の作るお弁当も提示し、試食することができ、お弁当代を含めて受講料を徴収することができた。単なる講習会では、参加費が有料の場合には参加者募集が大変難しくなるが、お弁当付きということで、有料に対して納得していただけたと思う。

4件目の試食講習会においては、ねぎ味噌作りを加え、昼の食事をしていただくことで、有料の講習会とした。東京から著名な講演者を呼ぶと費用が嵩むが、この時の食事は、料亭弁当ではなく、料理教室で作った津餃子定食として、参加費を講演費用の一部に回すことができた。対象は一般としたが、予定人数まで集まらなかったのが残念である。津餃子定食を作る作業に津市職員の方に協力していただいたため、参加者はねぎ味噌作りだけを行い、参加者の拘束時間は、2時

1) 三重大学教育学部情報教育課程 Course for Information Science Education, Faculty of Education, Mie Univ.

間の短時間内で収まっている。

表1. 実施活動一覧

日時	教室名	場所	受講料	参加者数
9月29日(火) 11:00-13:00	「食を体験することの大切さ」 レシピ付試食講習会 講師：磯部由香（三重大教育学部・准教授）	津市大門料亭 「茂波」	1,200 円	20
10月17日(土) 10:00-13:00	子ども料理体験教室「じぶんで つくとおいしいよ！ おこ め編」 講師：食生活改善協議会	津市中央保健セン ター 栄養指導室	1,500 円	17
10月18日(日) 10:00-13:00	子ども料理体験教室「じぶんで つくとおいしいよ！ おや さい編」 講師：食生活改善協議会	津市中央保健セン ター 栄養指導室	1,500 円	21
10月24日(月) 11:00-13:00	「元気をつくる食事の仕方」試 食講習会 講師：永山久夫（食文化研究家）	橋北公民館 研修 室A（アストプラ ザ4階）	1,500 円	15
11月8日(日) 10:00-13:00	子ども料理体験教室「じぶんで つくとおいしいよ！ おさ かな編」 講師：志摩のおかみさん会	津市中央保健セン ター 栄養指導室	2,000 円	20

2件目、3件目、5件目の子ども料理教室では、子ども用の専用包丁を用意し、親子一緒になって料理をしていただいた。スタッフとして、高田短大の学生の支援も受けた。対象とする子どもは、4歳から10歳程度までの年齢制限を行った。最も教育的効果が高い年齢であるからである。実際に包丁を使って料理をするため、やはり指を切ることがあった。絆創膏を貼って止血する傷ではあるが、怪我をしないようにするには、親御さんをはじめスタッフの注意が大変必要であると改めて思った。それでも、複数回、参加していただいた親子もあり、参加者にはとても好評な活動であった。受講料は、食材代金と講師謝礼にほぼ匹敵し、採算性が最も良い活動であった。

表1の中に掲載できなかった活動として、農業体験の活動がある。11月14日(土)津市役所を

バスで出発し、美杉町大洞菜園へ行き、大根掘り体験と焼き芋焼きを行う活動であったが、当日天気が悪く中止となった。参加者まで募って楽しみにしていた活動であったが、天候には勝てず残念であった。

#### 4. 今後に向けて

平成22年度は、「ICT利活用モデル構築事業」の実現に向けて、さらに活動を進めていく必要がある。それには、ICTシステムの維持費を抑えなくてはならず、テレビ会議システム、テレビ電話システム、SNS サイト、ブログサイトから成るシステムを見直し、SNS サイト+ホームページの構成へ変更することにした。これまで、テレビ会議システム、テレビ電話システムは、特にレンタル費が高く、費用対効果の面から継続しないこととした。SNS

サイト、ブログサイトに関しては、サーバのレンタル費および運用保守費が、業者へ毎年支払われてきており、本格的サーバであったため買い取る場合の価格も高額となる。そこで、パソコンベースのハードウェアを新規に用意することで、高額な買い取り価格よりも安価な方法でサーバを構築することにした。サーバの運営には、三重大学地域情報化リサーチセンターに協力していただくことにしている。このようにして、ICTシステム関係の出費を激減させ、平成22年度には、子ども料理教室の継続、農業体験活動の実施などを考えている。

ICTシステムの利活用に関しては、SNSの参加者を増やそうと、SNS内で提供する情報を更新し続けている。津市のイベント情報案内のページ <http://genkids.edu.mie-u.ac.jp/public/speccommu.php?commuid=30>

では、リニューアルされた「元気っ津+Plus」のSNSである <http://genkids.edu.mie-u.ac.jp/home/> 中の「イベント情報広場」コミュニティの記事をSNS会員以外でも見えるようにしたものであるが、最も多くの人に読まれている情報の一つである。他にも、「子育て協賛店舗紹介」「子育て活動団体紹介」「健康相談・検診」「本屋紹介」「図書館紹介」などのコミュニティがあり、子育てに有益と思われる情報を提供し始めている。

## 5. まとめ

ICTを利活用したビジネスモデルの構築に向けて、平成22年度は、子ども料理教室などの活動を行った。子ども料理教室は、採算性が最も良く、出費少なく継続することが可能な活動である。その参加者集めに、ICTを利活用することができるようになれば、目標としてきた事業に近くなると思われる。

現在のところ、ICTの利活用は、SNS内での情報共有活動や、ホームページでの情報発信活動しか具体策がないが、他のSNSとの連携や、他の団体活動との連携を通して、情報伝達にICTが貢献できれば、様々な活動を周知させるのに必要なコストが減っていくと同時に、人集めが用意

になり、活動も活発化できると思われる。

SNSなどのネット活動の活発化が、人集めコストの低減になり、子ども料理教室以外の活動にも役に立つことができると考えている。

## 参考文献

- (1) 山守一徳：子育て支援のためのGPS携帯を用いた地域情報収集・表示機能を持つSNSシステムの実装、三重大学社会連携研究センター研究報告 第17号 P.33-34 (2009年12月)